

「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」に係る研修会 (その3) を実施しました。

新たな学校教育準備
プログラム推進事業
通信 No.4

平成30年9月6日
教育指導課教育課程係

『思考力・判断力・表現力を育成する書写教育の展開』

東京学芸大学教育学部 教授 加藤 泰弘 氏

「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善普及支援事業」の泉区の拠点校として実践に取り組んでいる仙台市立七北田小学校〈相澤経利 校長先生〉において8月30日(木)、研修会が行われました。「思考力・判断力・表現力を育成する書写指導の展開」と題して、東京学芸大学教育学部教授の加藤泰弘氏から講話をいただきました。

加藤先生からは、「書写で育成する資質・能力とは」「手書きとは何か」、「『書写』はなぜ大切か」、「毛筆を使用する意義とは」などの具体的なお話から、「新学習指導要領の趣旨」、そして「国語科書写の改訂のポイント」について、スライドを使いながら分かりやすくお話しいただきました。

来年度、東北書写書道教育研究大会・仙台大会が七北田小学校を会場に予定されていることもあり、泉区、及び七北田小学校の先生方の他、仙小教研書写部会の先生方も参加した中での研修会となりました。加藤先生の講話の概要は次のとおりです。

○ 「書写」で育成する資質・能力とは？

- ・ 文字を正しく整えて(速く)書く技能
 - ・ 相手意識、場面意識を持って適切に書く力
 - ・ 文字の成り立ちについての知識(文字文化)
 - ・ 確かな書写力を学習活動や日常生活に生かそうとする態度
- ※ なめらかに手書きする力
→ あらゆる学びの根底(基礎・基本)となる力



○ 論理的思考力とコミュニケーション能力

- ・ 考える力(論理的思考力)…筆記具を持って考える
 - ・ よりよく伝える力(コミュニケーション能力)…場面意識、相手意識
- これらの資質・能力を根底で支えるのが、言葉(文字)をなめらかに手書きし、言葉を紡ぎ出していく力

文字文化

○ 「手書き」論(「はなす」と「かく」)

- ・ 人間は言葉を持ったことで、他の動物と切り離された
 - ・ 言葉は「話し言葉」と「書き言葉」から成る
- 始めは「話し言葉」のみ 文字(「書き言葉」)ができたのは、人類の歴史から見れば最近のこと
→ 「我々は、文字を書いているのではない。言葉を書いている」という視点を持つことが大切



○ 人間の五感と「書く」行為

- ・ 文字を手書きして、視覚、触覚、運動感覚など様々な感覚が複合する形で言葉を学習することで、その言葉の意味や概念も含めて習得することになる
- ・ 手書きをすることは、我が国の大切な文化である
(近年、手書きが再評価され始めている)

○ 新学習指導要領改訂の趣旨

- ・ 現行学習指導要領は、各教科等において「教員が何を教えるのか」という観点を中心に組み立てられており、教科等の縦割りを超えた指導改善の工夫等に課題がある
→ 学習する子供の視点に立ち、教育課程全体や各教科等の学びを通じて「何ができるようになるのか」という観点から、育成を目指す資質・能力を整理する必要がある
整理された資質・能力を育成するために「何を学ぶか」という、必要な指導内容等を検討し、その内容を「どのように学ぶか」という、子供たちの具体的な学びの姿を考えながら構成していく必要がある
- ・ 「知識や技能」は「思考・判断・表現」を通じて習得されたり、その過程で活用されたりするものであり、相互に関連し合いながら育成される
- ・ 「学びに向かう力、人間性等」は、一定の期間を掛けて育成される資質・能力であり、教科等の目標においてまとめて示すこととしている

○ 小・中学校学習指導要領 国語科書写の改訂のポイント

- ・ 「書写」は国語科の「知識・技能」の中の「我が国の言語文化に関する事項」に位置付けられた **小学校国語科書写の改訂のポイント**
- ・ 小学校 第1学年・第2学年の指導事項に「点画の書き方」を明記
→ (イ) 点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順にしたがって丁寧に書くこと
- ・ 「内容の取扱い」の(エ)を新設
→ 第1学年及び第2学年の(3)ウ(イ)の指導については、適切に運筆する能力の向上につながるよう、指導すること
※ 1,2年生で水書用筆等を使用した指導について初めて示した…書字過程(運動面への視点)
→ 書いた結果だけでなく、見る視点を与え、書いている過程を見合うことが重要

中学校国語科書写改訂のポイント

- ・ 中学校 第3学年の指導事項に「多様な表現」「文字文化の豊かさ」を示す
→ (ア) 身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くこと

★ 受講者の声 ★

- ・ 書写を一つの運動として捉えるということ、書字過程に視点を当てた書写指導が重要視されるのだということがよく分かりました。
- ・ 書写の新学習指導要領の改訂の趣旨の中でも、運動を意識することが重要であるということを知ることができました。「主体的な学び」をするために課題解決のワークシートを、「対話的な学び」をするために書字過程を見合う時間を、「深い学び」をするために、日常生活に生かす指導をしていきたいと思えます。
- ・ 書字過程の大切さを考えたことがなかったので、書いたものを相互批正するだけでなく、書いている様子を互いに見合う時間を設定したいと思いました。
- ・ 今日の話をもつて、「文字についてもっと丁寧に教えたい。板書するときの文字にも気を付けたい。」と感じました。
- ・ 水書用筆の導入等、これからの書写教育の在り方を学ぶことができました。今後の指導に生かしていきたいと思えます。
- ・ 文字を書くときに、なめらかな書字過程を意識させるようにしていきたいと思えます。また、児童が主体的に文字の原理・原則に気付くような指導をしていきたいと感じました。
- ・ 書写の授業以外にも、書写の原理・原則を生かせるような指導をしていきたいと思えます。
- ・ 中学校でも運動面(書字過程)を大事にしていきたいです。